
株式会社メガチップス

2017年3月期 第3四半期 決算説明

<http://www.megachips.co.jp/>

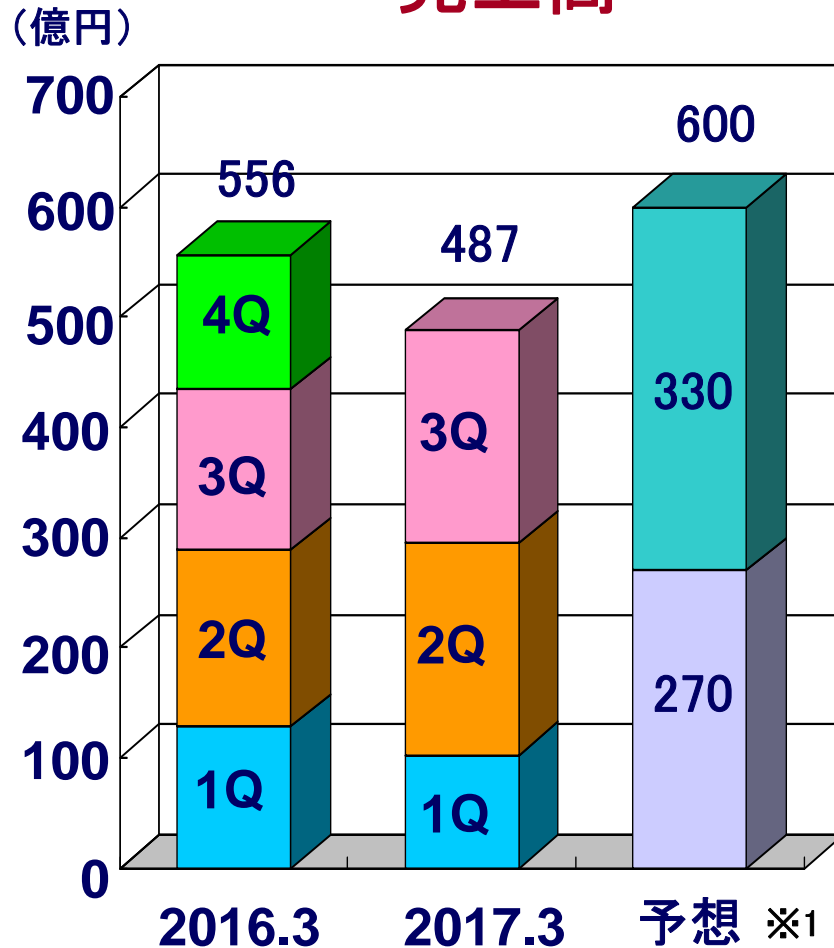
目 次

1. 2017年3月期・3Q業績報告 3
2. 2017年3月期業績予想 8

2017年3月期・3Q業績報告

2017年3月期 3Q連結業績

売上高



売上高(累計) : 487億円
対前期増減率 : +12.2%

ゲームソフトウェア格納用LSI(カスタムメモリ)及び中長期の成長分野として取り組んでいるMEMSタイミングデバイスの需要が堅調に推移しました。

※1:2017.3期通期予想数値は、2016年10月28日の公表数値です。

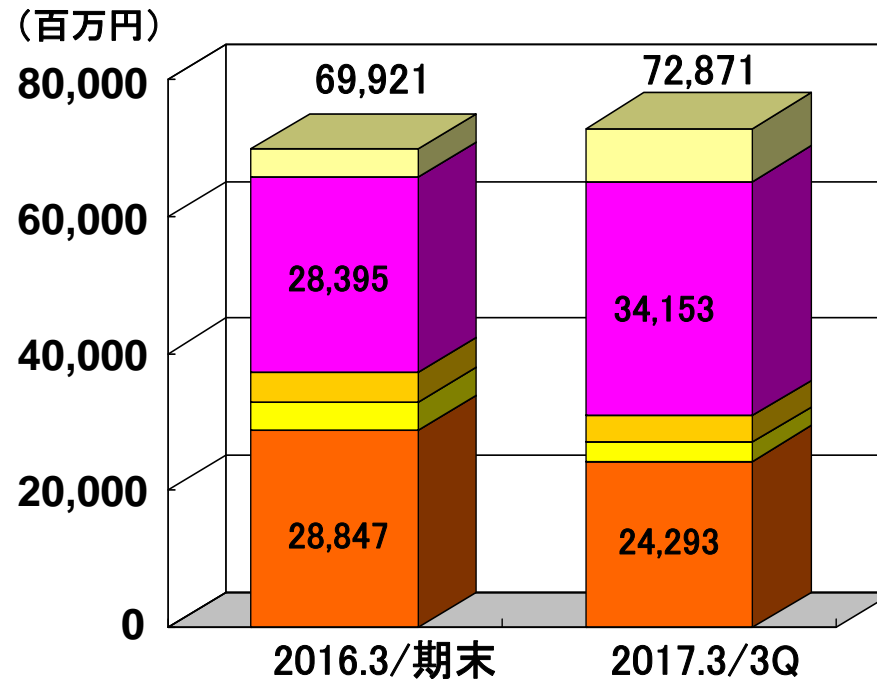
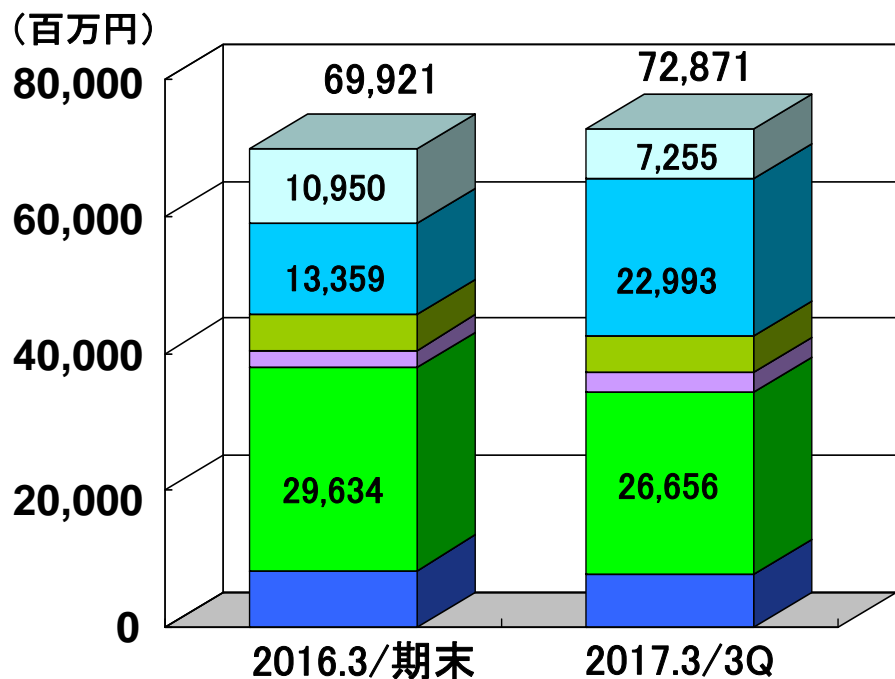
2017年3月期 3Q連結業績(P/L)サマリー

(単位:百万円)		2017.3期 3Q(累計)実績	2016.3期 3Q(累計)実績	対前年 同期比
連結	売上高	48,779	43,471	+12.2%
	のれん等償却前 営業利益	3,579	3,096	+15.6%
	のれん等償却	2,001	2,899	- 31.0%
	のれん等償却後 営業利益	1,578	197	+697.7%
	経常利益	894	556	+60.8%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	- 1,069	- 418	—
	1株利益(円)	- 49.88	- 18.73	—

※1 当第3四半期連結累計期間において、海外企業の買収に伴うのれん及び無形固定資産の償却費が約20億1百万円発生しております。

※2 特別損失として、第2四半期に計上した特別損失(マクロニクス株式の投資有価証券評価損)を含む10億4千3百万円を計上しております。

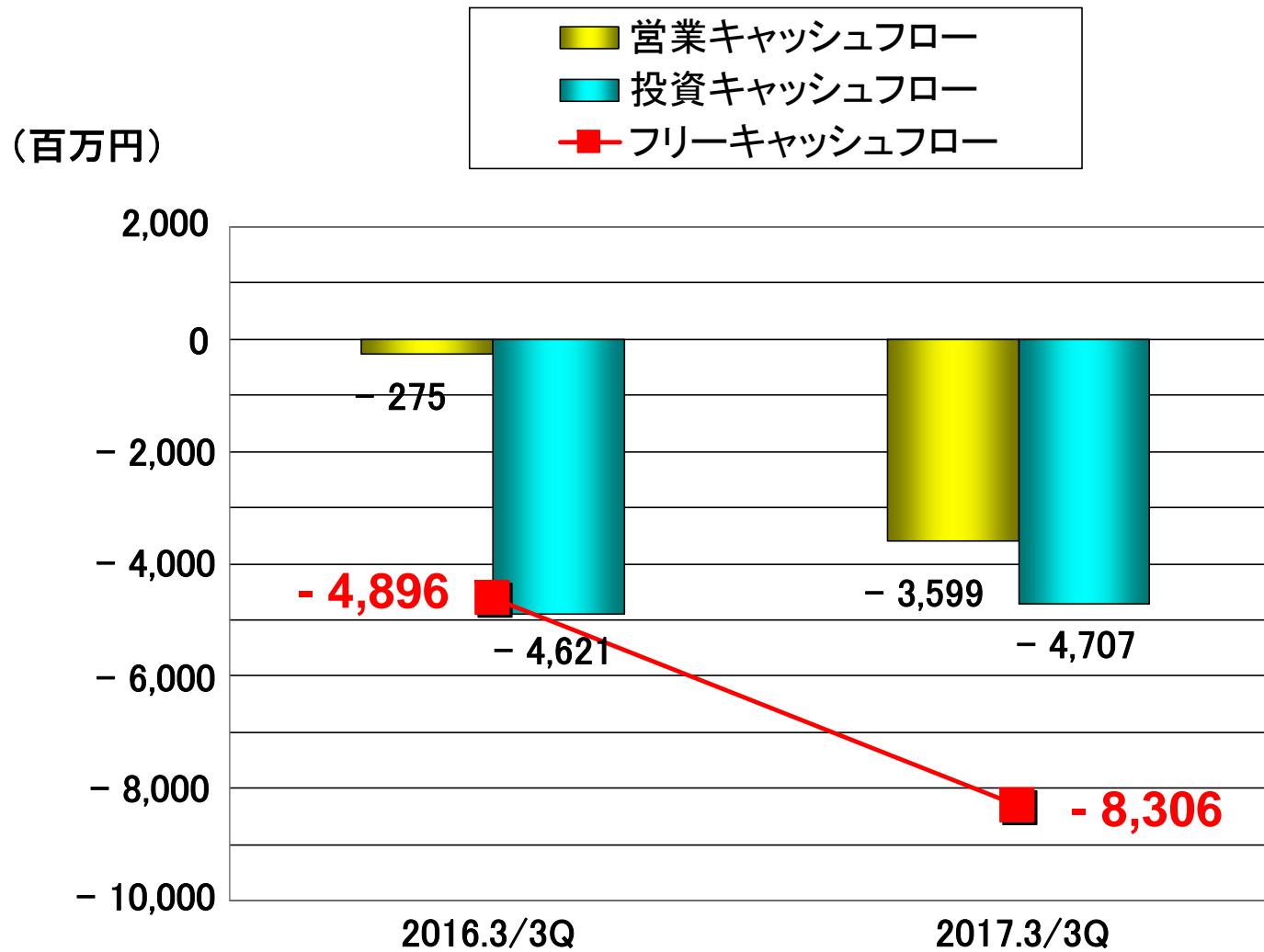
2017年3月期_3Q 財政状態



	2016.3/ 期末	2017.3/ 3Q
現金及び預金	10,950	7,255
受取手形及び売掛金	13,359	22,993
たな卸資産	5,118	5,435
その他の流動資産	2,582	2,909
無形、有形固定資産	29,634	26,656
投資その他の資産	8,278	7,622

	2016.3/ 期末	2017.3/ 3Q
支払手形及び買掛金	4,242	7,727
有利子負債	28,395	34,153
その他流動負債	4,509	3,921
その他固定負債	3,928	2,776
純資産	28,847	24,293

2017年3月期_ 3Qキャッシュフロー



2017年3月期業績予想

2017年3月期 通期業績予想(対前回予想)

2017年3月期通期_業績予想

(2017年3月期 前提為替レート:米ドル 110円、台湾ドル 3.3円)

(単位:百万円)		2017.3 通期予想 (今回)	2016.3 通期予想 (前回)	2016.3 通期実績	対前年 同期比
連結	売上高	※1 64,000	60,000	55,662	+15.0%
	のれん償却前 営業利益	4,200	4,100	3,513	+19.6%
	のれん償却	3,000	2,900	3,848	- 22.0%
	のれん償却後 営業利益	※2 1,200	1,200	- 335	—
	経常利益	1,000	1,000	313	+219.4%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	※3 - 1,000	- 800	- 782	—
	1株利益(円)	- 46.47	- 37.33	- 35.24	—

<前回からの今回業績予想修正の理由>

※1 ゲームソフトウェア格納用LSI(カスタムメモリ)の需要が当社前回想定を上回る見込みのため前回発表の売上高を増額修正。

※2 売上高増による利益増に対して、海外子会社(12月決算会社)の営業費用及びのれん償却額の12月末の為替影響による換算額の増加が見込まれること等から、のれん償却後営業利益は前回発表予想を据え置き。

※3 親会社株主に帰属する当期純利益は、第2四半期に計上した海外子会社(12月決算会社)が保有する株式の台湾ドル建ての投資有価証券評価損について、12月末の為替影響による換算額の増加が見込まれることから、前回発表予想を減額修正。

≫ 基本姿勢

当社は、「公平性」「適時性」「正確性」「継続性」に配慮して、経営戦略や財務状態等の会社情報を発信し、経営の「透明性」を高めるとともに、株主・投資家・証券アナリストの皆さまからの当社に対する信頼と適切な評価を得るために、経営者自ら積極的なIR活動に取り組みます。

≫ 情報開示の基準

当社は、金融商品取引法、会社法等の諸法令(以下、「法令」)、また当社の株式が上場されている東京証券取引所の定める「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示に関する規則」(以下、「適時開示規則」)を遵守してディスクロージャーを行います。また、法令ならびに適時開示規則に規定される開示基準に該当しない場合でも、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えられとされる情報や、当社への理解を深めていただく上で有用であると思われる情報は、積極的に開示します。

≫ 情報開示の方法

当社は、適時開示規則に定める開示基準に該当する情報、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えられとされる情報は、適時開示規則に従い、東京証券取引所が運用する適時開示情報伝達システム Timely Disclosure network (TDnet) を通じて開示するとともに、速やかに当社のインターネット上に開設するホームページ(以下、「ホームページ」)に掲示します。
また、これら以外の情報についても、当社を理解していただく上で有用であると思われる情報は、IR情報誌等の発行や、ニュースリリースの配信やホームページへの掲載を通じて情報発信します。

≫ 将来の見通しについて

当社が開示する情報の中で、業績予想や将来の予測等に関する記述は、その情報が開示される時点で経営者が入手した情報に基づき判断した予想であり、不確実性や潜在的なリスク(以下、「リスク」)が含まれる場合があります。しかし、結果としての業績等は、変化するさまざまな要因によって、予想とは異なることがありますことをご承知おきください。これらリスクは「事業等のリスク」として開示に努めますのでご参照ください。

≫ 投資の判断

当社の開示する情報は、当社に対する理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身の判断において行なわれますようお願いいたします。

≫ 第三者が発行する当社情報への対応

証券アナリストや報道機関、インターネット上のさまざまな情報サイト等の当社以外の第三者が発信する、当社の情報・業績予想等各種情報については、当社はコメントやこれらを支持する立場にはありません。ただし、これらの内容に明らかな誤りが含まれており、当社への信頼と適切な評価が得られないと判断する場合には、その誤りを訂正し、正確な情報を伝えるための対応を行います。

≫ IR沈黙期間

当社は、株価に影響を与える決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、各四半期の、決算日含め5営業日前から決算発表日までを沈黙期間と定めます。この期間中は、決算に関連するお問い合わせへのコメントを控えさせていただきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。ただし、法令や適時開示規則に該当する情報については、沈黙期間中であってもディスクロージャーを行った後、お問い合わせに対応いたします。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社メガチップス
財務・法務本部 広報課
ir-team@megachips.co.jp

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1-1 新大阪阪急ビル
TEL: 06-6399-2884(代) FAX: 06-6399-2886